

その頃のこと

水 間 ク マ

二月十八日お懐しいお茶の水幼稚園編集部から御通をいただきました。八十歳の老朽の私とても御答はおぼつかないと諦めてをりましたが其後度々幼稚園の夢を見ました。三月十四日の暁にはハッキリと私が昔の幼稚園の庭に立ちお片付に手もはず困っておりますと、親しかった亡友が現れお手伝にまいりましたという夢でハット驚き私は再び御通知を拝読いたしました。そしてこれは私の心の奥に未消え失せないものが現れたのだと考え急ぎペンをとりました。私が幼児教育に携わりましたのは明治四十二年四月から七月までお茶の水幼稚園で九州方面の保姆を召集して実地練習を指導していただいた時から始まり、帰校後直に四十年の伝統ある鹿児島師範付属幼稚園の保姆

となり大正四年三月まで僅四年間でありました。園舎は城山の南麓にある師範学校内の西南隅の閑地に東西に長く建てられた古びた荒れ屋でありました。そこで先ずこの理想的位置に恵まれた幼稚園を衛生上から出来るだけ改善し清潔を保ち得る程度まで設備し幼児の環境をよくすることに専念致しました。

1. 便所の改善と手洗場の新設、手洗場は同時に数人が洗えるように廊下と便所出口に設け手脂の清潔に注意した。

2. ブランコ。スベリ台。は見通のよい西側の木蔭に設け砂場は室内より出入出来る南側に砂を深く入れ跣足でも足のよれることのないようにし、マットで払えばそのままお室にあがれるようにしました。

3. お池。は砂場の隣りに自然石を以て幅せまく曲り屈って細長く造り、水は深く浅く数カ所に区割して造り、金魚鯉メダカなど適宜に放ちますと幼児の観察に便利で又産卵期には注意して掬い分け、棕櫚の皮の軟かいのを入れてやりますとよく産卵し、間もなく塵のような微細な幼虫が無数に微動し初めます。これを幼児自ら発見するかは保姆にとっては興味ある試みでありました。先生あれ何? の問

は見事幼児の口よりほとばしり出ました。そして幼児の眼は真剣そのものの輝きでありました。

4. 雑舎とあひる。お池の隣りには雑舎を作り飼育は保姆と小使さんの受持ちでしたが市街地に住む幼児には非常によろばれました。又めんどりにあひるの卵を温めさせましたら立派にかえりまして、やがてめんどりと同じ大きさに育ちましたのでめんどりも金網こしに鉢をすり寄せて互に動きませんでした。姿形は異っていても育ての親と子の愛情の深さ美しさに感心させられ、幼児と共に考えあひるにはも一羽お友達を入れてやることにしました。

5. 鳩屋。園舎の北側は廊下とお玄関でそのお玄関に鳩屋をすえました。鳩屋は八角形の総金網張りの中に樹枝を渡し巣箱を入れ動物園の小鳥屋風に造り一つがひを入れました。幼児は餌をやって鳩ポッポとうたひながら細かな観察をしました。そして馴れた時は遊戯室に放って餌を拾はせると肩にとまったり又ふんをかけられたり。面白い試みでありました。又卵は産んで其まま置きますと二個産んだ時はその卵を温めてかえし雛を見たことが

ありましたが、見たがるのと騒がしいので育ちませんでした。

6. 大自然の保育場として城山公園の中腹を選びました。幼稚園から本校の門を出ると直に城山公園登山口がありましたので道路行通の危険もなく、風なく晴れた日には千古の大楠樹の根もとに腰かけ、ここから展望する錦江湾中に鎮座する桜島や遠く霞む島山等、大自然美の中に歌い鳥の声をききながら天眞の幼児と遊んだ欲びは、遠い昔の夢のようでもあり又昨日のようでもあります。

これから室内のことを述べましょう。

1. お室と机の椅子 机と椅子を改造致しました。幼児が一組二十四名宛二組ですから大円形を四分して四脚とし、内側から二名、外周に四名、一脚六名四脚で二十四名分となります。又離したり、配置により色々面白い形になります。又、椅子は藤張りで幼児が各自自由に持ち運びが出来る朝の集い、さよなら、又砂場にも利用されて幼児に愛好されました。

2. フレーベルの積木は各個々の遊びですが大横木を与えると共同で大仕掛のものを組立て入学前の幼児には面白い結果を見ました。又モンテッソーリ女史の発表する五官の筋肉運動神経の練習により知覚

教育をはかる運動具を大正三年、私は夏季講習会上京中、九段のフレーベル館に依頼して送って貰いました。精密な研究には感心致しました。そして幼児に試みて発育の遅れた児や観察の粗漏な児又は全身的大運動に偏する児には効果のあるものと思われました。

3. 色紙折、豆細工、粘土細工等、細かな手指の練習は心が落着かないとヒゴが折れたり又豆が中心をそれたりしますので幼児は自然に静かになります。そして出来上りをお室にかざると興味が深くなります。それはよく出来たというのでなく只自分が作ったのなら幼児は満足するのです。又おかざりしたのは随時取かえおみやげに持たせて帰しました。

4. 飯ごと遊びとお人形は兄弟姉妹四体位とし、着換を造り襦袢下着などよく大箱に整頓して置きますと、幼児は立派なお母様やお姉様になります。興味ある遊びをくり返しておりました。そしてお母さまになった児はお片付けをいつもよくするのは面白いと思えます。又飯事遊びの用品を完備するのは容易ではありませんから想像力に富む幼児によく工夫させますと面白いものを作っております。

5. 唱歌 今日のように幼児の心にびったり

と合った唱歌は少なく、永年の伝えて幼児は只リズムをよろこび手まね手拍子よく舞いましたが、又きかせる為の工夫も足りなかったことを恥しく思います。

6. お話 お伽話の勸善懲惡的なのは幼児の純真を傷けない様に注意して話しても猶心配な点が多かったのを、近頃の研究では改作してあることを深くよろこびます。幼児のお話をよろこぶのは誰れもが経験しますが特に同じお話を幾度でも求めることについては深く考えさせられました。即ち大人の聞くのは知るので幼児の繰返すのは味うので其都度味が深まるので興味が尽きないのだと思えました。

7. 幼児の描く絵 点一つ丸一つが幼児としては思想の表現で、成人が乱雑に塗りつぶしたと見るのが幼児の火事の絵だったり幼児の絵は其説明により生きてまいります。初めはこんなこととしていても、まじめに其お話をきいていますとだんだん育つて驚くほどの観察力で絵らしいものになります。各個性をみて自然にまかせ、幼児の絵はよくその想をきき指導するのが本体だと考えます。

8. 運動会、遠足、演芸会 などは幼児の発育上園体生活に慣れないとして一度も行はないで、只本校のに参加して、幼児全

部が所定の所まで駆け出し柿や蜜柑など拾わせたり、又特に入学前の大きい組が動作遊戯などしたこともありました。幼児の教育を永い目で見て学校に上るようになれば遠足や演芸会などもあるという楽しみをもたせてありました。

終りに私は幼児教育に携わったというより幼児に教育されたので御座いました。毎朝一日のお祈りをする時、幼児の前に立つとき私の心は純真そのものでありました。又今日の遊びを終え、さよならと幼児の後姿を途中無事なれと合掌しました。祈る心は純真な幼児の賜物でありました。私は今昔のお茶の水幼稚園の藤棚の下で御指導下さいました諸先生方の御面影を懐び御健康と御幸福を祈り又謹んで倉橋先生の御冥福を祈り奉ります。(鹿兒島市驚師町三十)

出 想 い 雪 枝 大 石

私が初めて就職したのは慥か日露戦争の始る寸前かと思えます。

当時は付属と申しましても、本校の前の道路をへだてた向側にあるので毎日本校の職員室の校長の机の前においてある出勤簿に判おして正門を出て、向側の幼稚園へと参るのです。ある先生は一度幼稚園の前を素通りして、又引かえずという、ややこしい事を毎日繰り返すのでした。今から思うと何とも繁雑な事でしたが、当時はユツタリとした世の中なのか、誰でもがノンビリしていましたので、誰もあたり前の事と思つてむだな道を往復したわけで、私も毎日こうした事をくり返し、十有六年間奉職しました。帰宅の際は園長先生初め一同揃つて本校に行き校長に挨拶して帰るのでした。今考えると少々封建的なことのように思ふ。

当時職員は小向先生、次席の青木せい先生(最年長者で故参の方)、村さだ先生、永田ヨシ先生と年少の私との五人でした。幼児の数も百二十三名ほどでしたと思ひました。保育の方法や時間割のようなものは皆小向先生の支配の下にありました。四組あるのに保育室が三遊嬉室が一本なので大体三四と合併、一二と組合つての保育をしてい

ました。私は小向先生につきいろいろと実際の教をうけていました事を覚えていません。先生は末経験者をお仕込みになるのを好まれとても細かく御導き下さいました。不束な私、何事も先生の思う様に働かせないので申しわけないと思う事許りでした。楽器の指使いからお話の仕方等々よく注意されましてその親切な程涙が出るようでした。今でも身にしみて有がたいと思っています。私の一生を通じて歩けた道の根本を教えて下さったこと、それを勤めながら教つた偉大な賜物と一日一日を感謝して、この先生あるが為十有六年を無事に勤められたのです。

付属幼稚園と申しましても校長が視察に参られた事始となく、不自由勝な事多々ありました。が成瀬校長が病没され湯島校より杉浦校長が転任されてよりはよく参観に参られ、いろいろ主任と相談されて内外の設備もよくなり、又私共の保育の実際を見られたり運動具を考案されたり、消耗品の補給など十分になり、一同喜んではいけません。幼児も大分ふえ手不足となり何年か忘れましたが、板橋いよ先生が、沼津女学校御出身間もなき頃就職されました。また肩をして袴をはいた初々しいお姿でした。主任の先生喜ばれ、私と同様やさし